

偏西風

看護師の仕事
中学生に紹介

小林市・細野中(甲斐昭晃校長、127人)がキャリア教育の一環として取り組んでいる「社会人の声を聞く会」



が29日、同校であった。1年生30人が看護師の仕事に熱心に耳を傾けた。

講師は、ともに4月に同市駅南に開校する小林看護医療専門学校に教員として就任予定の山元とも子さんと深見信子さん。山元さんは看護師の仕事内容や職業に就くための進路を説明し「看護師は命を育む援助をする仕事」と話した。生徒たちは血圧測定や聴診器の使い方や学んだり、赤ちゃんの人形を抱っこしたりして看護師の仕事体験した

南園錬君(13)は「責任の重い仕事だと思った。命の大切さも学んだ」と話した。細野中は2月12日にも医療機器メーカーから講師を招き、同様のキャリア教育を行う。

12歳の根性行進

細野中1年 樺木 望美

1月11日の根性行進でどんな道を歩いて行くのかなど分からなかったのが不安でしたが、12歳という道のりを先生方や友達と話しながら行くと、不安な気持ちなどがなくなりわくわくする気持ちでいっぱいになりました。

私は坂道を上るときに「き

つい、きつい」と言いながら上っていたので、自分でも「根性がないな」と思いました。ゴールでは立っているの



もきついくらい足が棒のようになっちゃいました。その後にとんと焼きが行われ、やぐらに火がついたら暗かった演芸場が明るくそして少し暖かくなりました。とんと焼きの後に地域の方から焼きそばやポテト、ぜんざいなどの温かい振る舞いもありました。特に保護者の方が作ってくれた豚汁がおいしく体も心も温かくなりました。

私は根性行進やとんと焼きに参加できてよかったなあと思いました。根性行進は40年近く歴史ある行事で、これからも受け継いでいきたいと思いました。この一年健康に過ごせますように。(小林市)